

平成29年度  
公益社団法人 日本地すべり学会東北支部  
第33回 総会  
議案書

開催場所：仙台市戦災復興記念館 記念ホール

開催日時：平成29年4月24日（月） 13時00分～13時45分

議事次第

1. 開会
2. 支部長挨拶
3. 議事
  - 第一号議案 平成28年度事業報告
  - 第二号議案 平成28年度収支決算報告及び監査報告
  - 第三号議案 平成29年度事業計画（案）
  - 第四号議案 平成29年度収支予算（案）
  - その他
- 報告事項
4. 閉会

---

平成29年度シンポジウム

14時00分～17時30分

意見交換会（アークホテル仙台青葉通り）

18時00分～20時00分

## ○ 第一号議案 平成28年度事業報告

### (1) 支部総会 (参加者 65名)

- ① 日時 平成28年4月25日 13:30~14:30
- ② 場所 仙台市戦災復興記念館記念ホール
- ③ 議事
  - ・第一号議案 平成27年度事業報告
  - ・第二号議案 平成27年度収支決算報告及び監査報告
  - ・第三号議案 平成28年度事業計画(案)
  - ・第四号議案 平成28年度収支予算(案)
  - ・第五号議案 役員改選
  - ・報告事項 本部開催事業、第54回研究発表会及び現地見学会(山形大会)

### (2) 支部シンポジウム (参加者 161名)

- ① 日時 平成29年4月25日 14:40~17:30
- ② 場所 仙台市戦災復興記念館記念ホール
- ③ テーマ 「積雪・融雪と地すべり-その不思議な挙動の解明と危険度予測を目指して-」
  - 基調講演 季節積雪層と斜面変動の相互作用を考える  
松浦純生氏(京都大学防災研究所教授)
  - 講演
    - ・新潟県内の地すべりの積雪期における運動特性と水文環境 佐藤壽則氏((株)日さく)
    - ・寒候期における地すべり面の力学特性に影響を及ぼす諸要因  
柴崎達也氏(国土防災技術(株))
    - ・豪雪地帯の地すべりに及ぼす積雪荷重の影響 岡本 隆氏(森林総合研究所東北支所)
    - ・積雪～融雪時期の融雪水浸透における地下水位への影響についての一考察  
細谷健介氏(新和設計(株))
    - ・積雪期前に活発化する地すべりの要因について 大村 泰氏(奥山ボーリング(株))
  - ・総合討論:司会 岡村 隆氏(森林総合研究所東北支所)、渡辺 修氏((同)水文企画)

### (3) 意見交換会

場所 グランテラス仙台国分町(参加者 69名)

### (4) 支部拡大幹事会・拡大運営委員会

- ① 拡大幹事会
  - ・第1回拡大幹事会(平成28年9月14日 仙台市 東北工大一番町ロビー 22名)  
地すべり現地検討会の計画、実施要領に対する協議ほか
  - ・第2回拡大幹事会(平成29年2月15日 仙台市 東北工大一番町ロビー 21名)  
平成28年度事業報告及び決算(案)、平成29年度事業計画及び予算(案)の協議
- ② 拡大運営委員会(平成29年3月16日 仙台市 東北学院大サテライトステーション 15名)  
平成28年度事業報告及び決算(案)、平成29年度事業計画及び予算(案)の審議
- ③ 幹事会(平成28年10月14日 8名)

(5) 支部ワーキンググループ「斜面変動研究の次世代コロキウム」の開催（事業企画委員会）

- ① 趣 旨 若手技術者を対象とした地すべり調査における着眼点、技術レポートの書き方などの勉強会とし、技術者の交流を図りながら、最終的には学会誌への投稿を目指す。
- ② 開催日 2ヶ月毎に開催し、合計6回開催  
(5月13日、7月22日、9月30日、11月25日、  
1月27日、3月11日)
- ③ 参加者 20名
- ④ 会 場 仙台市 東北学院大サテライトステーション
- ⑤ 世話人 宮城豊彦氏（東北学院大）  
濱崎英作氏（(株)アドバンテクノロジー）  
阿部真郎氏（奥山ボーリング（株））  
支部事業企画委員会



<コロキウム開催状況>

(6) 東北支部地すべり現地検討会の開催（巡検計画委員会）

- ① 期 日 平成28年10月13日（木）～14日（金）
- ② 場 所 福島県西会津町「滝坂地すべり」
- ③ テーマ 「大規模地すべりにおける諸問題とその対応ー地形地質から見た地すべりの発生機構について(アルコース砂岩に着目して)ー」
- ④ 参加者 42名
- ⑤ 検討会 福島県柳津町 つきみが丘町民センター



<現地検討会集合写真：滝坂地すべり>

(7) 関連団体との連携・地域貢献

- ① 宮城県砂防ボランティア協会への講師派遣
  - ・期 日 平成28年5月18日
  - ・講 師 押見和義氏（(株)復建技術コンサルタント） 「土砂災害点検時の着眼点」
- ② 山形県立山形中央高校への講師派遣
  - ・テーマ 「やまがたの大地～村山周辺の大地を考えよう」（山形大学出張講義と共催）
  - ・日 時 平成29年2月21日 15:40～17:40
  - ・場 所 山形県立山形中央高校
  - ・参 加 15名（生徒11名、教諭3名、大学院生1名）
  - ・講 師 八木浩司氏（山形大学）  
奥山武彦氏（山形大学）  
鈴木真悟氏（奥山ボーリング（株））



<山形中央高等学校への出前講座>

(8) 広報活動等（広報委員会）

- ① 支部だより第27号の発行（平成28年12月）
- ② 支部ホームページの更新、情報発信

- ・ 東北支部関連（幹事会、運営委員会など）、各種事業開催案内など

○ 第二号議案 平成28年度収支決算

(円)

【収益】				当期予算 a	当期決算 b	増減 a-b
勘定科目						
大科目	中科目	小科目	細目			
<b>支部収益</b>				<b>1,740,300</b>	<b>1,701,430</b>	<b>38,870</b>
	事業収益			1,160,000	1,101,400	58,600
		シンポジウム収益		600,000	540,000	60,000
			参加費	180,000	156,000	24,000
			意見交換会費	420,000	384,000	36,000
		現地検討会収益		560,000	561,400	△ 1,400
			参加費	140,000	483,700	△ 343,700
			意見交換会費	420,000	77,700	342,300
		技術講習会収益				
			参加費			
			意見交換会費			
		出版収益				
			会誌頒布			
			その他の出版			
	協賛・寄付			580,000	580,000	0
		協賛金		580,000	580,000	0
		寄付金				
	雑収益				20,000	△ 20,000
	受取利息			300	30	270
	預り金					
	研究発表会収益					0
<b>本部仮払金</b>				<b>300,000</b>	<b>204,614</b>	<b>95,386</b>
<b>当期収益合計(A=支部収益+本部仮払金)</b>				<b>2,040,300</b>	<b>1,906,044</b>	<b>134,256</b>

【費用】				当期予算 a	当期決算 b	増減 a-b
勘定科目						
大科目	中科目	小科目	細目			
<b>支部費用</b>				<b>2,040,300</b>	<b>1,752,307</b>	<b>287,993</b>
	事業費			1,720,300	1,417,628	302,672
		シンポジウム会費		760,300	596,823	163,477
			印刷製本費	80,000	71,194	8,806
			会場費(会場使用料)	63,000	61,300	1,700
			会議費(意見交換会含む)	430,000	356,120	73,880
			諸謝金	40,000	11,137	28,863
			旅費交通費	132,000	51,000	81,000
			借料(バス・レンタカー代)			
			通信運搬費	15,000	33,456	△ 18,456
			情報システム費			
			支払手数料	300	5,292	△ 4,992
			消耗品			
			備品			
			支払保険料			
			雑費		7,324	△ 7,324
		現地検討会費		515,000	561,367	△ 46,367
			印刷製本費	15,000		15,000
			会場費(会場使用料)	20,000	12,330	7,670
			会議費(意見交換会含む)	420,000	397,096	22,904
			諸謝金		22,274	△ 22,274
			旅費交通費	20,000	0	20,000
			借料(バス・レンタカー代)		71,280	△ 71,280
			通信運搬費	20,000	33,158	△ 13,158
			情報システム費			0
			支払手数料		2,808	△ 2,808
			消耗品	10,000		10,000
			備品			0
			支払保険料	10,000	7,421	2,579
			雑費		15,000	△ 15,000

(その2)



【費用】				当期予算 a	当期決算 b	増減 a-b
勘定科目						
大科目	中科目	小科目	細目			
		技術講習会費		120,000	57,456	62,544
			印刷製本費	10,000	57,456	△ 47,456
			会場費(会場使用料)	10,000		10,000
			会議費(意見交換会含む)	0	0	0
			諸謝金			0
			旅費交通費	100,000	0	100,000
			借料(バス・レンタカー代)			0
			通信運搬費			0
			情報システム費			0
			支払手数料			0
			消耗品			0
			備品			0
			支払保険料			0
			雑費			0
		※その他の事業活動		325,000	201,982	123,018
			印刷製本費(機関誌)	230,000	174,960	55,040
			会場費(会場使用料)			0
			会議費(意見交換会含む)			0
			広告宣伝費			0
			パート・アルバイト代			0
			諸謝金			0
			旅費交通費(社会貢献・緊急調査)	55,000	0	55,000
			借料(バス・レンタカー代)			0
			通信運搬費	40,000	26,158	13,842
			情報システム費			0
			支払手数料		864	△ 864
			消耗品			0
			備品			0
			外注費			0
			支払保険料			0
			雑費			0
			その他			0
	管理費			320,000	334,679	△ 14,679
		給与・手当		20,000	0	20,000
			パート給与			0
			アルバイト給与	20,000	0	20,000
		会場費		15,000	0	15,000
		会議費		30,000	84,801	△ 54,801
			支部総会費			0
			幹事会・運営委員会	30,000	84,801	△ 54,801
		印刷製本費		30,000	24,226	5,774
		旅費交通費		10,000	0	10,000
		借料				0
		通信運搬費		40,000	11,670	28,330
		消耗品(事務用品など)		5,000	62,038	△ 57,038
		情報システム費(OA、サーバ管理など)		10,000	0	10,000
		備品				0
		外注費		150,000	150,000	0
		支払手数料		5,000	1,296	3,704
		公租公課 印紙代				0
		雑費		5,000	648	4,352
		<b>当期費用合計(B)</b>		<b>2,040,300</b>	<b>1,752,307</b>	<b>287,993</b>
		<b>当期収支差額(C=A-B)</b>		<b>0</b>	<b>153,737</b>	<b>△ 153,737</b>
		前期未払金			0	
		前期前払金			0	
		前期繰越額		1,692,325	1,692,325	0
		次期繰越額		1,692,325	1,846,062	△ 153,737

(監査報告)

## 監査報告書(東北支部)

平成29年4月7日

公益社団法人 日本地すべり学会  
会 長 落合 博貴 殿

監事 田中 均   
監事 三上 登志男 

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの会計および業務の監査を行い、次のとおり報告する。

### 1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて決算書の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、会議等への出席、または支部長から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

### 2 監査意見

- (1) 決算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の経理の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 支部の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

## ○ 第三号議案 平成29年度事業計画（案）

### (1) 支部総会

- ① 日 時 平成29年4月24日（月）13:00～13:45
- ② 場 所 仙台市戦災復興記念館記念ホール
- ③ 議 事
  - ・ 第一号議案 平成28年度事業報告
  - ・ 第二号議案 平成28年度収支決算及び監査報告
  - ・ 第三号議案 平成29年度事業計画（案）
  - ・ 第四号議案 平成29年度収支予算（案）
  - ・ その他

### (2) シンポジウム

- ① 日 時 平成29年4月24日（月）14:00～17:30
- ② 場 所 仙台市戦災復興記念館記念ホール
- ③ テーマ 「地すべりの素因としての地形・地質 ―最新の知見と若手研究成果の報告―」
  - 基調講演 地すべりの素因としての地形・地質

京都大学防災研究所教授 千木良雅弘 氏

○講 演 ―東北地方の地すべりにおける地形地質的特徴と発生機構―

- ・ キャップロック地すべり (株) 復建技術コンサルタント 山本佑介 氏ほか
- ・ 河川の攻撃斜面と地すべり地形 奥山ボーリング (株) 高堂陶子 氏
- ・ 数値標高モデル(DEM)による攻撃斜面の抽出・指標化の試み

奥山ボーリング (株) 林 一成 氏

- ・ 総合討論：司会 渡辺 修 氏 ((同) 水文企画)、長谷川陽一 氏 (国土防災技術 (株))

### (3) 意見交換会

- ① 日 時 平成29年4月24日（月） 18:00～20:00
- ② 場 所 アークホテル仙台青葉通り

### (4) 東北支部活動

- ① 幹事会・拡大幹事会
  - ・ 平成29年9月、平成30年2月に予定
  - ・ 支部事業の計画の立案、運営に関する協議
- ② 拡大運営委員会
  - ・ 平成30年3月に予定
  - ・ 平成29年度事業報告及び平成30年度事業計画（案）の審議
- ③ 役員会・委員会
  - ・ 必要に応じて随時開催
  - ・ 支部の運営等に関する協議等



#### (5) 若手育成事業「斜面変動研究の次世代コロキウム」の継続 (事業企画委員会)

##### ① 趣 旨

支部若手会員の技術的交流の場を提供し、学会等での発表や投稿を視野に地すべり調査における技術の伝承を図るとともに、支部の会勢拡大に繋げていく。

##### ② 実施要領

- ・宮城豊彦先生、阿部真郎氏、濱崎英作氏を世話人として、支部長と事業企画委員会で運営
- ・第1回を5月に開催予定とし2ヶ月に1回程度、計5～6回の開催を予定する。
- ・参加人数は20～30名とし、随時参加などの体制を検討する。

#### (6) 地すべり現地検討会の開催 (巡検計画委員会)

##### ① 場 所 宮城県 「鳴子ダム周辺の地すべり」

国道108号花淵山バイパス建設時に問題となった地すべりとダム右岸の地すべり

##### ② 時 期 平成29年10月初旬～中旬を予定(1泊2日)

##### ③ 目 的 国道ルートと地すべり地形の関係、建設段階での地すべりに対する調査、対策の考え方などについて現地調査を踏まえて検討する。

#### (7) 災害調査派遣 (巡検計画委員会)

- ① 調査に値する災害情報が提供された場合は、本部「土砂災害緊急調査内規」に準じて調査派遣を検討、実施する。
- ② 調査後は報告書にまとめ提出するほか、ホームページなどで会員に広く広報する。
- ③ 必要があれば後続調査の検討を行う。

#### (8) 社会貢献・会勢活動 (事業企画委員会)

- ① (大震災以来かすみがち)な斜面防災のリスクの再認識を促し、コミュニティーの自助・共助の重要性などについての啓蒙・普及・研修に関する活動を計画する。
- ② 各種団体への出前講座や出張授業等を推進、検討する。
  - ・講座・授業を行う対象や内容、講師など、中・長期的な戦略を立て情報収集を行う。

#### (9) 他学協会との交流活動 (各委員会)

- ① 協賛団体、関連団体・学会との情報共有を推進する。

斜面防災対策技術協会東北支部 全国地質調査業協会連合会 東北地質調査業協会  
砂防学会東北支部 土木学会東北支部 応用地質学会東北支部 地盤工学会東北支部など
- ② 市民向けシンポジウム、勉強会等の共同開催などの可能性について検討する。

#### (10) 広報活動 (広報委員会)

- ① 支部だより第28号の発行(平成29年12月の予定)
  - ・支部会員、協賛団体及び企業への学会活動の情報提供
  - ・支部ホームページにも掲載
- ② 支部ホームページの更新、情報発信(各種事業報告ならびに事業開催案内・参加募集など)

○ 第四号議案 平成29年度収支予算(案)

(円)

【収益】				当期予算 a	前期予算 b	増減 a-b
勘定科目						
大科目	中科目	小科目	細目			
<b>支部収益</b>				1,600,100	1,740,300	▲ 140,200
	事業収益			1,000,000	1,160,000	▲ 160,000
		シンポジウム収益		400,000	600,000	▲ 200,000
			参加費	0	180,000	▲ 180,000
			意見交換会費	400,000	420,000	▲ 20,000
		現地検討会収益		600,000	560,000	40,000
			参加費	450,000	140,000	310,000
			意見交換会費	150,000	420,000	▲ 270,000
		技術講習会収益		0	0	0
			参加費	0	0	0
			意見交換会費	0	0	0
		出版収益				
			会誌頒布			
			その他の出版			
	協賛・寄付			600,000	580,000	20,000
		協賛金		600,000	580,000	20,000
		寄付金				
	雑収益			0		
	受取利息			100	300	▲ 200
	預り金					
	研究発表会収益					
<b>本部仮払金</b>				200,000	300,000	▲ 100,000
					0	0
<b>当期収益合計(A=支部収益+本部仮払金)</b>				1,800,100	2,040,300	▲ 240,200

【費用】				当期予算 a	前期予算 b	増減 a-b
勘定科目						
大科目	中科目	小科目	細目			
<b>支部費用</b>				2,002,500	2,040,300	△ 37,800
	事業費			1,672,500	1,720,300	△ 47,800
		シンポジウム会費		640,000	760,300	△ 120,300
			印刷製本費	80,000	80,000	0
			会場費(会場使用料)	30,000	63,000	△ 33,000
			会議費(意見交換会含む)	400,000	430,000	△ 30,000
			諸謝金	40,000	40,000	0
			旅費交通費	50,000	132,000	△ 82,000
			借料(バス・レンタカー代)			
			通信運搬費	30,000	15,000	15,000
			情報システム費			
			支払手数料	5,000	300	4,700
			消耗品			
			備品			
			支払保険料			
			雑費	5,000	0	
		現地検討会費		607,000	515,000	92,000
			印刷製本費	15,000	15,000	0
			会場費(会場使用料)	20,000	20,000	0
			会議費(意見交換会含む)	400,000	420,000	△ 20,000
			諸謝金	30,000	0	30,000
			旅費交通費	50,000	20,000	30,000
			借料(バス・レンタカー代)	50,000	0	50,000
			通信運搬費	20,000	20,000	0
			情報システム費			
			支払手数料	2,000	0	2,000
			消耗品	5,000	10,000	△ 5,000
			備品			
			支払保険料	10,000	10,000	0
			雑費	5,000	0	5,000

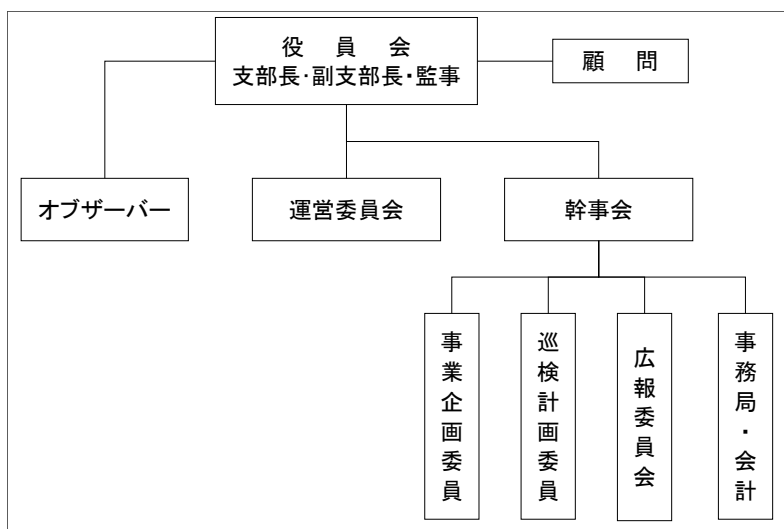
(その2)

【費用】				当期予算 a	前期予算 b	増減 a-b
大科目	中科目	勘定科目 小科目	細目			
		技術講習会費		165,000	120,000	45,000
			印刷製本費	30,000	10,000	20,000
			会場費(会場使用料)	10,000	10,000	0
			会議費(意見交換会含む)	20,000	0	20,000
			諸謝金			
			旅費交通費	100,000	100,000	0
			借料(バス・レンタカー代)			
			通信運搬費			
			情報システム費			
			支払手数料			
			消耗品			
			備品			
			支払保険料			
			雑費	5,000	0	5,000
		※その他の事業活動		260,500	325,000	△ 64,500
			印刷製本費(機関誌)	175,000	230,000	△ 55,000
			会場費(会場使用料)	10,000	0	10,000
			会議費(意見交換会含む)			
			広告宣伝費			
			パート・アルバイト代			
			諸謝金			
			旅費交通費(社会貢献・緊急調査)	45,000	55,000	△ 10,000
			借料(バス・レンタカー代)			
			通信運搬費	30,000	40,000	△ 10,000
			情報システム費			
			支払手数料	500	0	500
			消耗品			
			備品			
			外注費			
			支払保険料			
			雑費			
			その他			
	管理費			330,000	320,000	10,000
		給与・手当		20,000	20,000	0
			パート給与			
			アルバイト給与	20,000	20,000	0
		会場費		15,000	15,000	0
		会議費		55,000	30,000	25,000
			支部総会費			
			幹事会・運営委員会	55,000	30,000	25,000
		印刷製本費		50,000	30,000	20,000
		旅費交通費		10,000	10,000	0
		借料				
		通信運搬費		5,000	40,000	△ 35,000
		消耗品(事務用品など)		5,000	5,000	0
		情報システム費(OA、サーバ管理など)		10,000	10,000	0
		備品				
		外注費		150,000	150,000	0
		支払手数料		5,000	5,000	0
		公租公課 印紙代				
		雑費		5,000	5,000	0
当期費用合計(B)				2,002,500	2,040,300	△ 37,800
当期収支差額(C=A-B)				△ 202,400	0	△ 202,400
前期未払金						
前期前払金						
前期繰越額				1,732,145	1,692,325	39,820
次期繰越額				1,529,745	1,692,325	△ 162,580

## ○ その他

### (1) 東北支部オブザーバーの設置

- ① 現運営委員は産学官合わせて 43 名で構成されており、支部事業推進の支援や事業遂行状況、予算及び決算等の審議に携わることがを目的に、東北支部長が委嘱している（任期 2 年）。
- ② 本部規定では「運営委員は会員の中から選任し支部長が委嘱する」とされるが、委嘱している官公庁関係者での会員数は 2 名にとどまり、本部規定に抵触する委員が多い現状を改める。
- ③ 東北支部と官公庁との関わりは重要と考えることから、本部規定に抵触しない組織として「東北支部オブザーバー」を設け、職名として委嘱するものとする。
- ④ 次期役員改選（平成 30 年）に合わせ以下の組織体制とし、運営する。運営委員は正会員の中から 20 名程度（主に産学）で構成する。また、監事についても会員から選出する。



<組織図（案）>

### ⑤ オブザーバーの位置づけ

- ・東北支部と関係機関、企業等相互の活動を側面から支援するリエゾンとしての役割を担う。
  - 東北支部事業に対する助言
  - 地すべり等、斜面災害に関する情報交換及び情報共有
  - 発災時における現地調査等の支援及び技術的アドバイスの提供などの要請
- ・情報交換や要請事項、具体的支援内容などの制度整備を図るための意見交換会を年 1 回程度計画する。
- ・将来的には関係機関との災害協定の締結も視野に入れるものとする。

### (2) 旅費規定の制定（別紙参照）

- ① 支部事業の活性化に寄与する目的で、事業推進に当たって必要となる旅費の支給に係る規定を平成 29 年度内に制定する。
- ② 旅費支給は必要額の一部を補助する額として支給する。
- ③ 支給対象は東北支部主催事業に限定したものとする。
  - ・現地検討会、技術講習会及び社会貢献活動などにおける打合せ、講師派遣に伴う旅費等とし、支給に当たっては辞退も可能とした内容とする。
- ④ 規定案を早急に草案し、役員会及び運営委員会の承認を得るものとする。

### (3) 支部設立 35 周年記念事業

- ① 平成 32 年 (2020 年) に東北支部設立 35 周年を迎えるに当たり、記念事業を行うものとする。
- ② 記念事業として下記内容 (案) により書籍の出版を計画する。
  - ・実務で使える技術的な書籍出版  
(仮題)「実務者のための地すべり危険度評価 ー東北の地すべりを例にー」
  - ・空中写真判読や AHP による地すべり危険度評価、事例をもとにした危険度評価の検証など
  - ・概ね 700 部程度を想定
  - ・執筆者は支部内外の会員 (特に若手技術者) 及び実務経験者、学識経験者等を選定し依頼する。
- ③ 支部長を長とするワーキンググループまたは出版委員会を立ち上げる。
- ④ 経費は支部財産を当てるものとして計画する (≒100 万円)。
- ⑤ 詳細は本部との調整を経て決定する。

## ○ 報告事項

### (1) 平成 29 年度（公社）日本地すべり学会総会及びシンポジウム

- ① 場所 学術総合センター内「一橋大学一橋講堂」（東京都）
- ② 期日 平成 29 年 6 月 16 日（金）  
通常社員総会 10:00～10:50  
シンポジウム 11:10～16:50 「地すべり変動に影響を及ぼす地下水」  
意見交換会 17:00～19:00
- ③ 申込期限 6 月 2 日（金）まで FAX もしくはメールで事前登録（詳しくは本部 HP で）

### (2) 第 56 回（公社）日本地すべり学会研究発表会及び現地見学会

- ① 場所 ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）（長野県長野市）
- ② 期日 平成 29 年 8 月 22 日（火）～8 月 25 日（金）  
県民講演会 8 月 22 日（火）  
研究発表会（口頭・ポスター・新技術） 8 月 23 日（水）～24 日（木）  
意見交換会（ホテルメトロポリタン長野） 8 月 23 日（水）  
現地見学会（3 コース） 8 月 15 日（金）
- ③ 申込期限 平成 29 年 5 月 8 日正午～7 月 21 日正午（学会 HP 大会 Web ページより）

### (3) （公社）日本地すべり学会代議員選挙結果

- ① 選挙の結果、東北支部代議員として以下の方々が当選、選出された。

	氏名	読み	所属機関名
1	池田 浩二	イケダ コウジ	株式会社東北開発コンサルタント
2	井良沢 道也	イラサキ ミチヤ	岩手大学
3	石川 晴和	イシカワ ハルハ	株式会社アドバンテクノロジー
4	大澤 宏明	オオサワ ヒロアキ	株式会社復建技術コンサルタント
5	熊井 直也	クマイ ナオヤ	国土防災技術株式会社
6	藤元 亮	フジモト リョウ	日本工営株式会社
7	山田 孝雄	ヤマダ タカオ	奥山ボーリング株式会社
8	渡辺 修	ワタナベ シュウ	合同会社水文企画

### (4) 東北支部出納責任者の選出

- ① 東北支部出納責任者として以下の方を選出した。  
・島本昌憲 氏（(株)テクノ長谷）

平成28・29年度 東北支部役員等名簿(敬称略)

平成28年5月10日現在

顧問	盛合 禧 夫	(東北工業大学名誉教授)
支部長	八木 浩 司	(山形大学地域教育文化学部教授)
副支部長	菅野 洋 一	(宮城県防災砂防課課長)
運営委員	金子 和 亮	(日本工営(株) 仙台支店副技師長)
	伊藤 驍	(国立秋田高専名誉教授)
	井良 沢 道也	(岩手大学農学部教授)
	梅 村 順	(日本大学工学部専任講師)
	大河 正文	(岩手大学工学部准教授)
	大月 義 則	(東北大学大学院理学研究科助教)
	奥山 武 彦	(山形大学農学部教授)
	千葉 則 行	(東北工業大学工学部教授)
	檜垣 大 助	(弘前大学農学生命科学部教授)
	宮城 豊 彦	(東北学院大学教養部教授)
	林 将 宏	(国土交通省東北地方整備局河川計画課課長)
	田村 圭 司	(国土交通省東北地方整備局新庄河川事務所所長)
	楠本 岳 志	(農林水産省東北農政局農村振興部防災課地質官)
	諸岡 弘 文	(農林水産省東北農政局防災課課長)
	大野 泰 宏	(林野庁東北森林管理局治山課課長)
	田邊 順 次	(青森県河川砂防課課長)
	一戸 文 爾	(青森県林政課課長)
	小野 久 喜	(秋田県河川砂防課課長)
	高松 武 彦	(秋田県森林整備課課長)
	佐藤 暢 芳	(秋田県農地整備課課長)
	檜山 護	(岩手県砂防災害課総括課長)
	漆原 隆 一	(岩手県森林保全課総括課長)
	鈴木 秀 人	(福島県砂防課課長)
	渡部 茂	(福島県森林保全課課長)
	野内 芳 彦	(福島県農村基盤整備課課長)
	安部 博 之	(山形県砂防・災害対策課課長)
	鈴木 良 幸	(山形県林業振興課森林保全主幹)
山平 吉 弘	(山形県農村整備課課長)	
小高 憲 正	(東日本高速道路(株) 東北支社技術企画課課長)	
秋山 保 行	(東日本旅客鉄道(株) 仙台支社工事課課長)	
藤原 正 雄	(東北電力(株) 土木建築部部長)	
奥山 和 彦	(一社) 斜面防災対策技術協会東北支部支部長)	
阿部 真 郎	(奥山ボーリング(株) 顧問)	
熊井 直 也	(国土防災技術(株) 東北支社技術部長)	
小林 俊 樹	(株) 復建技術コンサルタント技師長)	
高橋 克 実	(土木地質(株) 会長)	
高見 智 之	(国際航業(株) 東北支社技術部長)	
八 鋏 健	(株) 日さく仙台支店長)	
橋本 修 一	(株) 東北開発コンサルタント調査役)	
濱崎 英 作	(株) アドバンテクノロジー社長)	
早坂 功	(株) テクノ長谷社長)	
山崎 孝 成	(国土防災技術(株) 技術顧問)	
森屋 洋	(奥山ボーリング(株) 技師長)	
山科 真 一	(国土防災技術(株) 東日本地域統括部長)	
監 事	田 中 均	(宮城県森林整備課課長)
	三上 登 志男	(株) 復建技術コンサルタント技師長)

<幹事会>

幹事長	瀬野孝浩					
副幹事長	渡辺 修	三嶋昭二	山田孝雄			
幹 事	(事業企画委員)	渋谷 保	押見和義	新田邦弘	長谷川陽一	久野高明
	(巡検計画委員)	細谷健介	大村 泰	藤元 亮	伊藤靖雄	西元研二
	(広報委員)	黒墨秀行	池田浩二	石川晴和	中臺直之	
	(事務局:会計)	島本昌憲				柴崎達也

## 支部協賛会社（36社）

一般社団法人 斜面防災対策技術協会東北支部  
株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング 東北支社  
株式会社アドバンテクノロジー  
応用地質株式会社 東北支社  
奥山ボーリング株式会社  
川崎地質株式会社 北日本支社  
基礎地盤コンサルタント株式会社 東北支社  
株式会社計測技研  
国際航業株式会社 東北支社  
国土防災技術株式会社 東北支社  
株式会社新東京ジオ・システム  
新和設計株式会社  
合同会社水文企画  
株式会社総合土木コンサルタント  
株式会社測商技研 秋田支店  
株式会社ダイヤコンサルタント 東北支社  
地質基礎工業株式会社  
中央開発株式会社 東北支店  
株式会社テクノ長谷  
株式会社東建ジオテック 東北支店  
東光計測株式会社  
東邦技術株式会社  
東北ボーリング株式会社  
土木地質株式会社  
日栄地質測量設計株式会社  
株式会社日さく 仙台支店  
日鉄鉦コンサルタント株式会社 東北支店  
日特建設株式会社 東北支店  
日本基礎技術株式会社 東北支店  
日本工営株式会社 仙台支店  
株式会社平野組  
不二ボーリング工業株式会社 仙台支店  
株式会社復建技術コンサルタント  
三菱マテリアルテクノ株式会社 秋田支店  
明治コンサルタント株式会社 仙台支店  
ライト工業株式会社 仙台総括支店